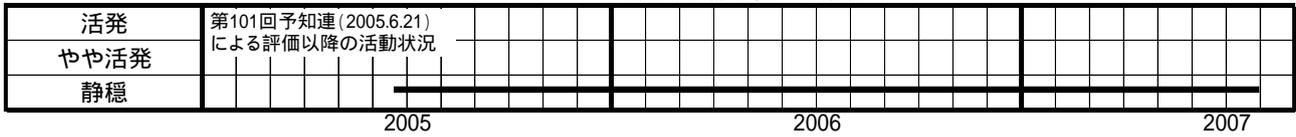


岩手山

火山活動評価：静穏な状況

振幅のやや大きな火山性微動が観測されましたが、地震活動、噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しています。

最近の活動状況の推移



概況

・地震や微動の発生状況（図2～図3、図5～6）

8日に振幅のやや大きな火山性微動（継続時間1分17秒）が観測されました（2004年2月20日以来）。しかし、火山性微動発生前後で地震の増加はなく、黒倉山山頂の噴気活動や東北大学の傾斜計¹⁾等による地殻変動観測でも特段の変化は認められませんでした。

火山性地震は少ない状態が続いています。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがある。

・噴煙など表面現象の状況（図4）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂の北約8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは30m以下で低調な状態が続いています。

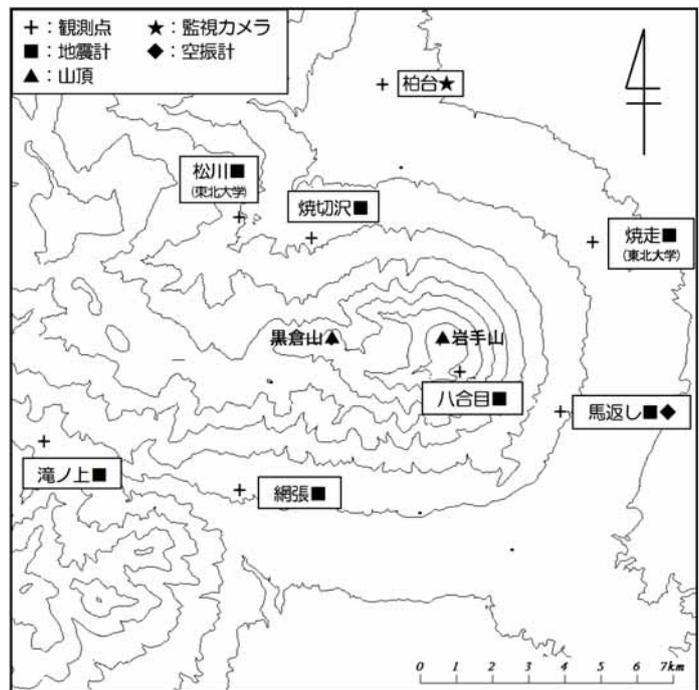


図1 岩手山 観測点配置図

資料は気象庁のデータの外、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平17総使、第503号）

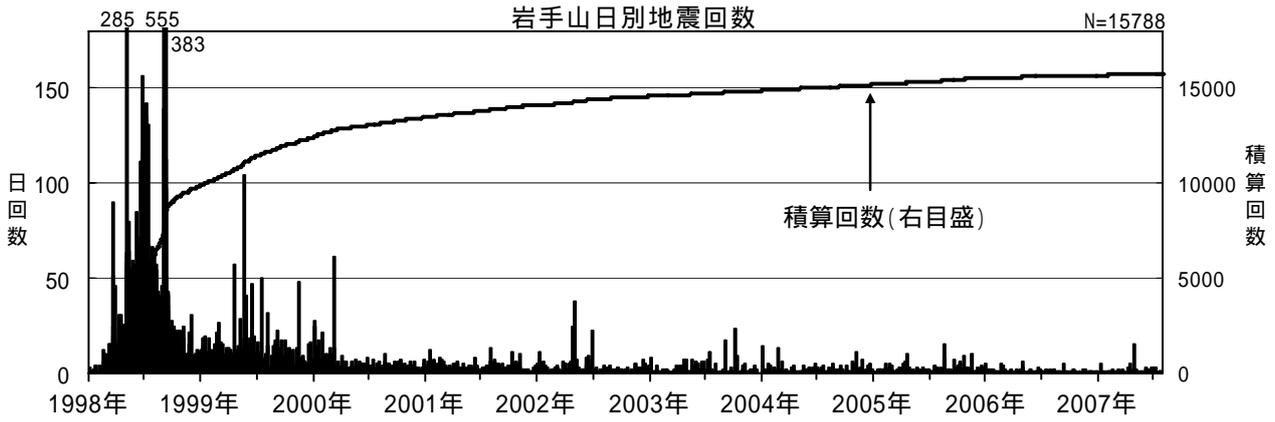


図2 岩手山 日別地震回数(1998年1月～2007年7月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点(計数基準:S-P時間2秒以内)から気象台焼切沢観測点(計数基準:振幅0.5 μ m/s以上でS-P時間2秒以内)に変更しました。2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震を除外した回数です。(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造性地震も含んでいます。)

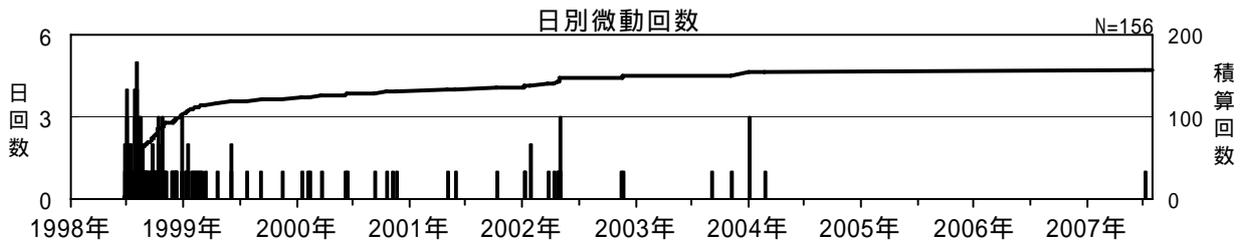


図3 岩手山 日別微動回数(1998年1月～2007年7月)

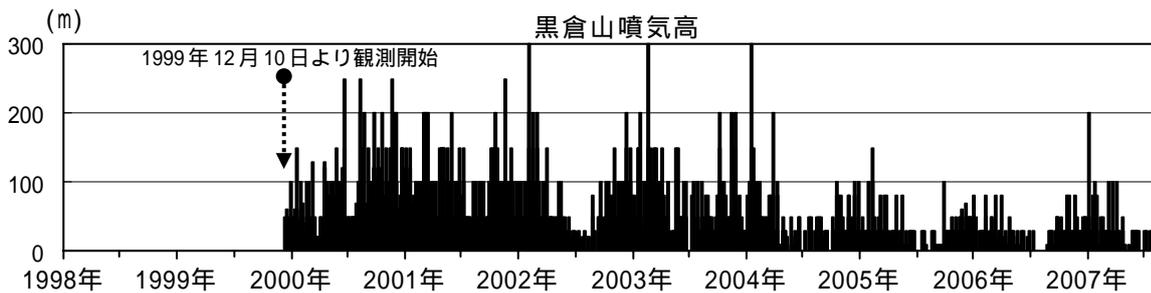


図4 岩手山 日最大噴気の高さ(黒倉山)(1999年12月10日～2007年7月)

気象台の柏台監視カメラは、1999年12月10日より観測を開始しました。

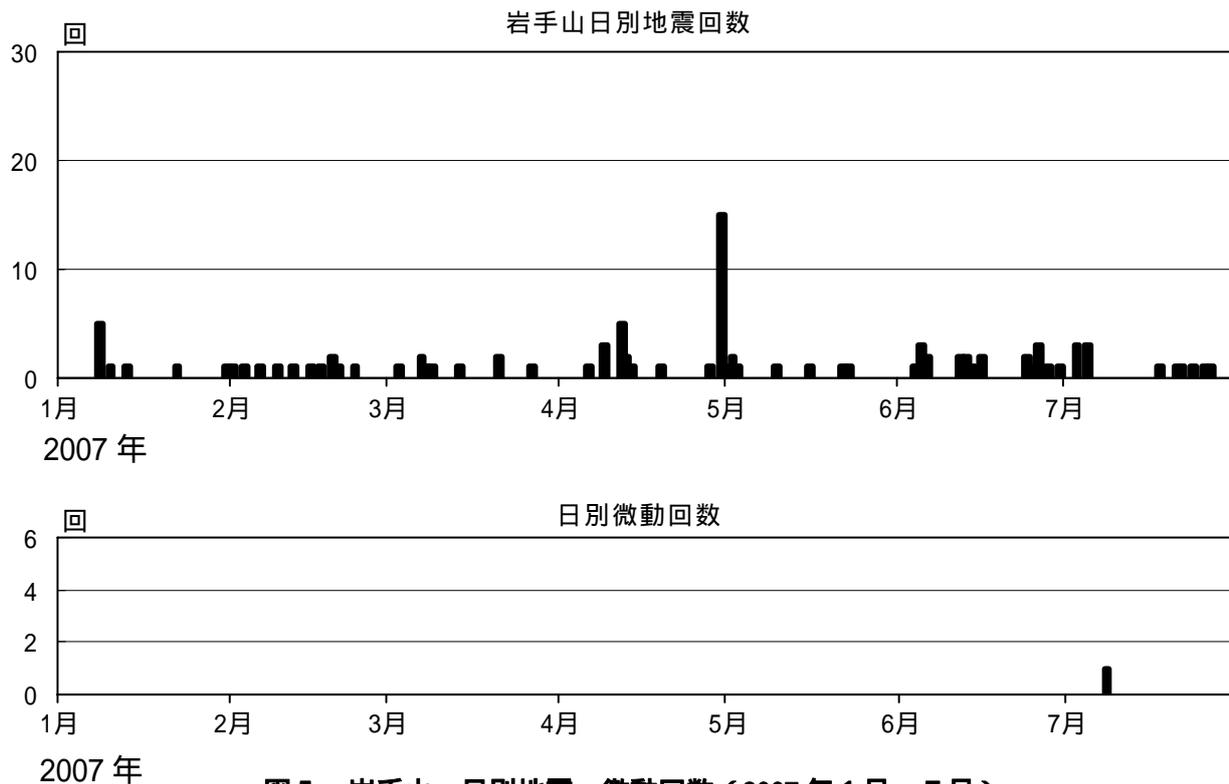


図5 岩手山 日別地震、微動回数（2007年1月～7月）

- ・地震回数は少ない状態が続いています。
- ・7月8日に火山性微動が1回観測されました。

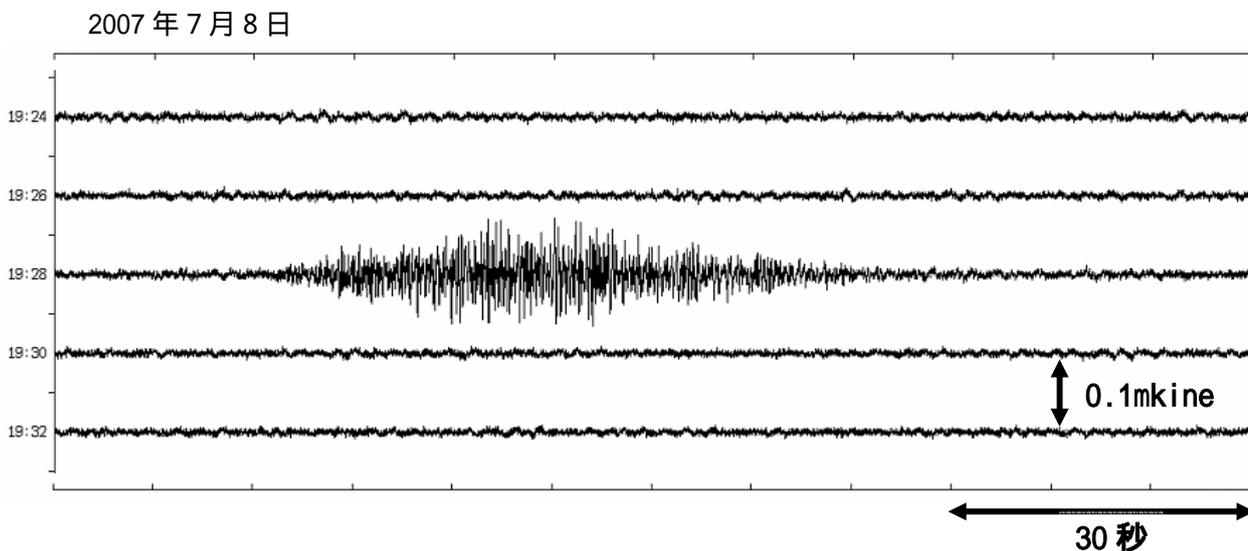


図6 岩手山 焼切沢観測点（山頂の西北西5km地点）で観測された火山性微動

- ・19時28分頃から29分頃まで火山性微動（継続時間1分17秒）が発生しました。